

No.3  
奇数月1日発行

# 平成25年5月 広報さーくる

- 内容
- ・障害福祉課より
  - ・研修報告
  - ・今月のインタビュー
  - ・お知らせ
  - ・編集後記

船橋市健康福祉局福祉サービス部  
障害福祉課より

## 『さーくる』に期待する1つ』

障害福祉課では、身体及び知的相談員による相談業務のほか、3障害（身体、知的、精神）を対象とした基幹相談支援センター「ふらっと船橋」を設置しております。また、平成23年7月には、「成年後見支援センター」を設置し、知的障害者、精神障害者に対する成年後見支援制度の利用に関する電話相談等を行うとともに、平成24年10月には、障害者虐待防止のため「障害者虐待防止センター」を設置しております。

障害者本人や家族からの要望が複雑化・高度化するにつれて、専門性の高い相談窓口が必要になってきます。その一方で、相談窓口が想定していない事例や、複合的・重層的な問題に対しては、相談窓口単体では対処できない場合も少なくありません。

例えば、虐待防止センターに虐待を受けているとの通報があったり、被害者からの聞き取りを開始したところ、実は虐待の事実がなく本人の被害妄想だったようなケースや、高齢のご両親と同居している精神障害者の息子さんが、実

はご両親を虐待しているようなケースです。

こうしたケースに対処するために、相談を受けた相談窓口が、障害福祉課を始めとする関係部局や他の相談窓口等と迅速に連携していくことが重要です。

「保健と福祉の総合相談窓口」さーくるは、相談事業や権利擁護事業に加えてコーディネート事業を行っていくものと聞いております。

前述したような複合的・重層的な問題に対しては、「さーくる」のコーディネート事業の下で、複数の相談窓口を結びつけたり、適切な相談窓口に繋いだり、あるいは複数の相談窓口や関係部局がチームとなってケースに対処していく場合に、中核となっていたいただくことを期待します。

今後も、障害福祉課、「ふらっと船橋」、「成年後見支援センター」、「虐待防止センター」がそれぞれの役割を果たしつつ、さーくるとともに、船橋市の相談支援体制の充実に貢献できるよう、引き続き努力していきたいと考えています。

### 各相談窓口

- ふらっと船橋  
TEL 047-495-6777
- 成年後見支援センター  
TEL 047-407-4441
- 虐待防止センター  
(愛称：はーぶ)  
TEL 047-401-8495

### 研修報告

3月、4月に参加させていただいた研修について、ご報告させていただきます。関係機関の皆様、貴重なお時間をありがとうございました。

平成25年3月23日（土）～東部公民館にて～

平成24年度第1回地域連絡調整会議のご報告

さーくるは、本事業の推進と周知を図るため、市と地域に所在する各関係機関を招集し連絡調整会議を開催することになっています。その一環として、市内民生委員・児童委員、医療機関、地域包括支援センター・在宅介護支援センター、他関係事業所の皆様にお集まりいただき、地域福祉課様より「さーくるが開所するまでの経緯」をご説明頂き、それを踏まえ、具体的な事例紹介をしながら実績報告をさせていただきました。

アンケート結果の一部をご紹介します。（回答率45％）



Q1、さーくるの活動について理解できた（未回答3％）

よく理解できた	30%
まあまあ理解できた	57%
あまり理解できなかった	10%
その他	3%

Q2、今後、さーくるとの連携は必要だと思われませんか

思う	73%
思わない	0%
よくわからない	13%
その他	14%

平成25年4月6日（土）～ウェルネス柏にて～

第7回ニート・引きこもり親セミナーのご報告

NPO法人千葉キャリアデザイン研究所の主催のセミナーが柏市のウェルネス柏で行われました。このセミナーは、年に1回、ニート・引きこもりの悩みを持つご家族を対象に行われており、今年で7年目ということです。セミナーでは、前半部分は斉藤環先生（あしたの風クリニック医師）による『子は変わるか？親は変わるか？』というテーマでの講義、後半部分は希望者を対象に個別相談会が行われました。

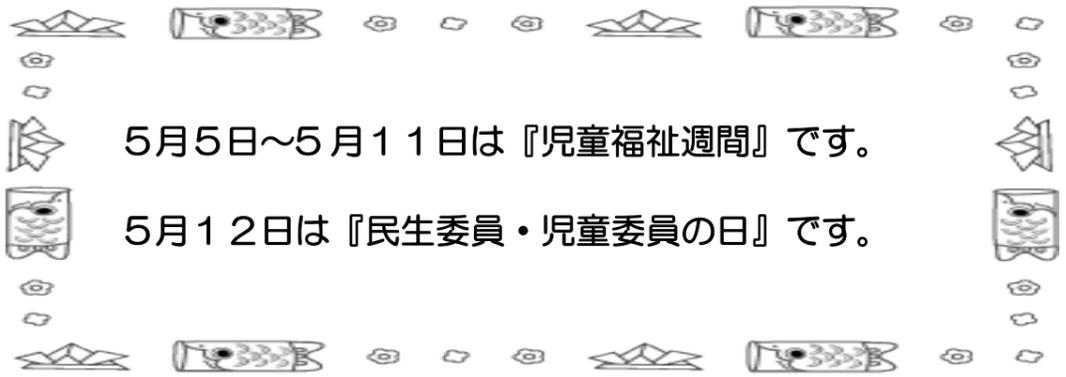
講義の中で、引きこもりの起こる原因について、「生き方や習慣による問題で、まず家庭に引きこもりやすい環境を作ることが大切」というお話がありました。それは、「働くことの意味が“生活のため”から“社会からの承認を得ること”に変わってきている時代背景の中で、引きこもりは、自分自身に否定的な気持ちを抱いてしまい、社会や家庭での関係や他者とつながりを持つことが難しくなること。このことが引きこもりの要因の1つとして考えられる」とのお話でした。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。



今月のインタビュー



（写真 左：松村様、右：寺尾様）  
インタビューア-赤堀（写真なし）



5月5日～5月11日は『児童福祉週間』です。

5月12日は『民生委員・児童委員の日』です。

そこで、現場で活躍中の主任児童委員の松村様と寺尾様にお話を  
うかがってきました。

貴重なお話をありがとうございました。（さーくる一同）

Q：子ども供に関係する塚田地区の特徴を教えてください。

A：（松村）塚田地区は、マンションの建設が進み、市外他県より移り住んでくる人が増えています。

当然子どもも増えていますが、小・中ともに学校はパンク寸前、また、「特別支援学級」がある学校が少ない実情です。今後、特別に配慮が必要な子の支援も含め、子どもの教育設備の充実は、行政側も必要性を感じていると思います。

（寺尾）主任児童委員の主な仕事は、地域の中での橋渡し役だと思います。地域、学校、家庭、行政をつなぐ役割を大切にしています。

Q：今までの活動の中での、印象的なエピソードを教えてください。

A：（松村）生活困窮とネグレクトの因果関係を目の当たりにしたケースがありました。

また、「ひとり親世帯」も増えており、良くも悪くもそれらが子どもに及ぼす影響の大きさに驚くこともあります。中には子育ての役割負担ができないため、身体的、経済的負担の重圧から精神的余裕が持てず、そのはけ口が子どもに向かってしまうケースも少なくありません。その中で印象に残るのは、経済的理由、親の無理解から進学希望を親に聞き入れてもらえない子に「何とか高等教育を受けさせてあげたい」という教育者側からの相談を受け、学校と協力して社会福祉協議会の教育一時金を活用し、進学の支援につなげたことです。

（寺尾）この主任児童委員になってみて、初めて知った世界があります。母子世帯で、母親がうつ病を患っているケース。両親が自殺したケース。どれをとっても、子どもたちにとって、切ないことです。主任児童委員としての限界を感じることもありますが、少しのサポートで、子どもたちの人生が良い方向に変化していくこと、地域が変わっていくことに、今後も関わっていきたいと思っています。

Q：将来を担う子どもたちにメッセージをお願いいたします。

A：（寺尾）人間は、一人では生きていけないので、たくさんの人の助け・協力を得ながら、自分自身が楽しく生きることを大切にしてください。出会いを大切にしてください。叱ってくれる人、教えてくれる人を大切にしてください。

Q：子どもたちを育てる大人、地域にメッセージをお願いします。

A：（松村・寺尾）大人が率先して、「いいと思うこと」はやりましょう。そして、地域に還元しましょう。

（村松・寺尾・赤堀）今後、さーくと共に、「地域でできること探し」から「何かできること」につなげ、子どもたちが、生きる力をつけるための、良い大人とたくさん出会う場を作っていくことができれば良いと思います。

お知らせ

☆お知らせコーナーへ掲載を希望される団体は「さーくる（circle）」までご連絡ください。  
TEL047-495-7111 FAX 047-435-7100

講演名	日時	場所	費用	申込み	問い合わせ他
平成25年度第1回地域連絡調整会議 特別講演会「子供たちに必要な地域の力を考える」 社会福祉法人生活クラブ風の村はぐみの杜君津開設準備室長兼生活クラブ風の村人力舎君津運営責任者 第1部 講演会 第2部 意見交換会	平成25年 6月22日(土) 受付13時30分～ 開始14時～16時	中央公民館 船橋市本町 2-2-5 TEL 047-434-5551	無料	ご案内を各関係機関に送付させていただきます。FAXでお申し込みください。	主催・問い合わせ先： 船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」 さーくる(circle) TEL:047-495-7111 FAX:047-435-7100

【発行・編集】  
社会福祉法人 生活クラブ風の村  
船橋市委託事業  
船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる（circle）  
所在地 船橋市湊町2-10-25 船橋市役所本庁舎内3階  
TEL 047-495-7111  
FAX 047-435-7100  
HP http://www.kazenomura.jp

さーくるの広報も第3号となりました。内容はいかがですか？少しずつですが、改良を重ね、皆さんに読みやすく、わかりやすい広報を目指していきたいと思っております。ご意見などありましたら、お知らせください。  
本号より、今月のインタビューのコーナーを作りました。このコーナーでは、地域で活躍される皆様のお話と、さーくるとの連携等についてご意見を頂戴できればと思います。今後も、地域の皆さんとお顔の見える関係を作れるように努力して参りますので、ご協力のほど、宜しくお願い致します。  
(K)

編集後記